

平成28年上半期 火災・救急・救助統計



問い合わせ **火災** 消防安全課 ☎254-0354 **救急** 救急課 ☎254-1600
救助 警防室 ☎254-1601 いずれも FAX256-7755

火災 出火原因 1位は「放火・放火の疑い」

上半期に発生した火災は52件で、昨年同時期と比較すると19件減少し、うち建物火災も20件減少しましたが、その他の火災は6件増加しました。出火の原因の1位は「放火・放火の疑い(約29%)」で、年始から自動販売機が放火される火災が連続して発生しました。また、たき火が原因で周囲の枯れ草や可燃物に燃え移る火災も後を絶ちません。火の取り扱いは十分注意しましょう。

火災概況

▲は減を示す

区分	平成28年上半期	平成27年上半期	比較
火災件数合計(件)	52	71	▲19
火災種別(件)	建物火災	37	▲20
	うち住宅火災	19	▲8
	林野火災	2	▲1
	車両火災	10	▲4
	船舶火災	0	0
	その他の火災	22	6
死者(人)	0	2	▲2
負傷者(人)	5	10	▲5

出火原因

単位は件、▲は減を示す

出火原因	平成28年上半期		平成27年上半期		比較	
	全体	住宅	全体	住宅	全体	住宅
たばこ	1	1	3	1	▲2	0
こんろ	3	2	6	5	▲3	▲3
焼却炉	0	0	2	0	▲2	0
ストーブ	0	0	5	5	▲5	▲5
電気装置	0	0	1	0	▲1	0
排気管	2	0	1	0	1	0
電気機器	0	0	1	1	▲1	▲1
内燃機関	0	0	2	0	▲2	0
電灯・電話等の配線	1	0	0	0	1	0
配線器具	3	3	2	1	1	2
火あそび	0	0	4	1	▲4	▲1
マッチ・ライター	1	0	0	0	1	0
たき火	7	0	12	0	▲5	0
衝突の火花	0	0	1	0	▲1	0
灯火	0	0	1	1	▲1	▲1
火入れ	2	0	0	0	2	0
放火	10	1	2	0	8	1
放火の疑い	5	0	3	2	2	▲2
その他	3	0	9	0	▲6	0
不明・調査中	14	4	16	2	▲2	2
合計	52	11	71	19	▲19	▲8

救急 軽症患者が全体の50%超え

上半期に発生した救急出動件数は7,062件でした。事故種別では急病が4,476件と最も多く、全体の約63%を占め、次いで一般負傷が1,032件(約15%)、交通事故が601件(約9%)でした。昨年同時期と比較すると、出動件数は52件増加し、搬送人員は12人増加しました。

また、救急出動全体の約50%が軽症患者でした。軽いけがや病気(擦り傷、歯痛、風邪など)の場合は、自家用車やタクシーなどでかかりつけの

病院へ行きましょう。本当に救急車を必要としている貴い命を救うため、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

救急概況

区分	平成28年上半期	平成27年上半期	比較
出動件数(件)	7,062	7,010	52
搬送件数(件)	6,385	6,367	18
不搬送件数(件)	677	643	34
搬送人員(人)	6,468	6,456	12

救助 交通事故による救助出動が最多

上半期の救助件数は61件でした。そのうち、交通事故が37件で全体の約61%を占め、次いでその他の事故が16件、水難事故および建物等による事故が4件でした。

出動件数61件のうち、現場で活動した件数は35件で、39人を救助しました。活動件数に入っていない26件については、救助隊が到着するまでに自力で脱出したものや、付近の住民などによって救出されたものです。

夏の行楽シーズンは、長距離の運転、海や川でのレジャーが増える時期です。交通事故や水の事故には十分注意しましょう。

救助概況

区分	平成28年上半期	平成27年上半期	比較
出動件数(件)	61	45	16
活動件数(件)	35	29	6
救助人数(人)	39	31	8